PRESS RELEASE

2026 年 11 月 20 日

特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International

1 枚のおにぎり写真から、世界と日本の子どもたちに食の支援を

～「おにぎりアクション 2026」、24 万枚以上の写真投稿が集まる～

日産セレナ、オイシックス、青稜中学・高等学校、ニッスイ、ニコニコのりなどが協賛パートナーとして参画

日本発で世界の食料問題の解決に取り組む特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International（以下、TFT）は、国連が定める 10 月 16 日「世界食料デー」を記念し、「おにぎりアクション 2026」を 10 月 8 日（木）より 11 月 17 日（火）まで開催しました。今年は「わたしから広がる～一人ひとりの投稿をみんなのムーブメントへ～」をテーマに、期間中、24 万 166 枚おにぎり写真が投稿されました。集まった投稿を通じて、アフリカ・アジアの子どもたちに 120 万 830 食の学校給食を届けるとともに、日本国内の子どもたちにも総額 100 万円の食事支援を実施します。一人ひとりの投稿が、国境を越えた子どもたちの食支援につながりました。https://onigiri-action.com/

◆世界にも、日本にも。おにぎりから広がる 2 つの食支援。



今年のおにぎりアクションでは、従来から実施してきたアフリカ・アジアの子どもたちへの学校給食支援に加え、日本の子どもたちへの食支援にも同時に取り組みました。

アフリカ・アジアの子どもたちへ

おにぎりアクションでは、SNS（Instagram、X）または特設サイトにおにぎりの写真を投稿すると、協賛企業から寄付が寄せられ、投稿 1 枚につき給食 5 食分に相当する 100 円の寄付を通じて、アフリカ・アジアの子どもたちに学校給食を届けることができます。今年も多くの方々の参加により、120 万食以上の給食支援につながりました。

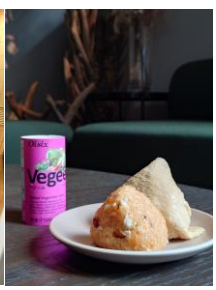
日本の子どもたちへ

写真投稿 5 万枚ごとに 20 万円が寄付される仕組みを設け、一人ひとりの投稿が国内の子どもたちの食を支える力にもなることを目指しました。総額 100 万円の寄付が実現し、一般社団法人「全国ドコデモこども食堂」を通じて、食事の支援を必要とする子どもがいるご家庭 333 世帯に、地域の飲食店で利用できる 3,000 円分の「食事チケット」が届けられます。

◆若い世代が起点に。企業やスペシャルアンバサダーとの連携が生まれる。

今年、青稜中学校・高等学校が、おにぎりアクション初のスクールパートナーとして参画しました。



参画のきっかけのひとつとなったのは、「おにぎりアクションが持つ教育力」です。おにぎりという身近な食べ物を入り口に、食や環境、世界の社会課題について学ぶだけでなく、「おにぎりアクション」を社会とつながる学びのツールとして活用。生徒自身が考えたアイデアを社会実装する経験にもつながりました。
生徒たちの主体的な挑戦から、協賛企業やスペシャルアンバサダーとの多様な連携が生まれました。

オイシックスや一流シェフと「未来のおにぎり」を開発

同校 SDGs 部の生徒たちは、オフィシャルパートナーのオイシックスと、「ミシュランガイド東京 2022」以降 2 つ星を維持する東麻布のフレンチレストラン「Crony（クローニー）」の春田理宏オーナーシェフとともに、「少し未来の『おいしい』に想いを馳せるおにぎり」づくりに挑戦しました。
夏の高温に強く食味の良い「高温耐性米」や、おいしく食べられるにもかかわらず十分に活用されていなかった「アップサイクル食材」を取り入れ、未来の食の可能性を考えたおにぎりを開発。完成したおにぎりは、1 週間にわたり販売されました。
さらに、10 月 25 日には、「一平飯店」のシェフも加わり、ガラランチイベントを開催。生徒たちのアイデアが、食のプロフェッショナルとの協働を通じて形になりました。

日産セレナと連携し、車両の電源を活用したおにぎりイベントを開催

校庭に車両を招き、日産セレナと連携したイベントを実施しました。車両の電源を活用して炊飯器でご飯を炊き、来場者におにぎりを振る舞ったほか、フォトスポットも設置。学校説明会を訪れた生徒や保護者に向けて、おにぎりアクションを知ってもらう機会となりました。

スペシャルアンバサダー（柔道家・杉本美香氏）も生徒たちの挑戦を応援

今年、おにぎりアクションのスペシャルアンバサダーに就任した柔道家の杉本美香氏（ロンドン五輪銀メダリスト）もイベントに参加し、一緒におにぎりを握り、生徒たちの取り組みを応援しました。



若い世代の「社会をよりよくしたい」という想いに、企業やシェフ、スペシャルアンバサダーなど、さまざまな立場の人々の知見や力が重なり、学校の枠を越えた協働へと発展しました。
教育を起点に、一人ひとりの主体的なアクションが多様な人々をつなぎ、社会課題の解決に向けた新たな動きを生み出す。おにぎりアクションの可能性がさらに広がった一年となりました。

◆「わたしから広がる」一人ひとりの投稿が生み出したムーブメント

「おにぎりの写真を投稿する」という、誰もが気軽に参加できるアクションを通じて、家族との食卓や学校、職場、飲食店など、さまざまな日常の場面から投稿が寄せられました。また、一人の投稿をきっかけに周囲の人へ参加の輪が広がるなど、一人ひとりの小さな行動が、より大きなムーブメントへとつながっていく様子も見られました。
また、今年も、参加者の皆さまから、おにぎりアクションへのさまざまな想いや感想が寄せられました。

- **誰でも簡単に、ひとりでもグループでも気軽に参加できるところがよいと思います。**
- **留学生と一緒に参加しました。留学生にとっても、自分が誰かの役に立てるということがうれしかったようです。**

- **単にお金を寄付するだけでなく、多くの人を巻き込みながら取り組むことで、一人ひとりの意識を高めることにもつながると思います。特別なことでなくても、自分にもできることがある。そのことに気づくきっかけになると感じました。**

このほかにも、「長年にわたって安定的に続いている取り組みだからこそ、信頼感がある」「協賛企業の皆さまが一緒に活動を盛り上げてくださることに感謝している」といった声も寄せられました。

◆協賛パートナーの多彩な取り組みが、活動を後押し。

おにぎりアクションは、写真投稿を通じて参加の輪を広げてくださる皆さまと、協賛パートナーの皆さまのご支援によって支えられています。

今年も各パートナーが、それぞれの強みやネットワークを生かし、SNS での情報発信や社内外での参加呼びかけ、イベントの開催、学校との連携など、多彩な取り組みを展開しました。企業・団体それぞれの主体的なアクションが、一人ひとりの参加を後押しするとともに、おにぎりアクションの認知拡大と、さらに多くの人へ参加の輪を広げる力となりました。





（写真左）ニッスイとニコニコのりによるコラボレーション投稿、（写真右）日産グローバル本社ギャラリーでは、おにぎりアクションの紹介パネルとともに、特設の撮影ブースを設置

2026 年ご賛同パートナー一覧

オフィシャルパートナー：日産セレナ、オイシックス

コーポレートパートナー：ニッスイ、ニコニコのり

スクールパートナー：青稜中学校・高等学校

サポーティングパートナー：GOEN、象印マホービン、ミライトリンク、サンゲツ、ニッコクトラスト、豊田通商、田辺ファーマ、三菱重工業、双日、GMO インターネットグループ、丸東、LEOC、住友電気工業、SI＆C、RKKCS、アマノ、住友理工、キッチン de 給食、ジョーンズ ラング ラサール、商船三井、新潟県観光協会、フーディストノート、デリッシュキッチン、シダックスフードサービス、YONDE、月刊総務

スクールパートナー

青稜中学校・高等学校

オフィシャルパートナー

NISSAN SERENA 日産セレナ　OISIX

コーポレートパートナー

nissui　笑顔の食卓文化 ニコニコのり

サポーティング パートナー

まだ、出会ったことのない介護 GOEN　ZOJIRUSHI　MIRAIToLINK　sangetsu　株式会社ニッコクトラスト　豊田通商

田辺ファーマ　三菱重工　sojitz New way, New value　GMO INTERNET GROUP　MARUTOU　LEOC　住友電工 Connect with Innovation

SI&C　RKKCS　Time & Air AMANO　住友理工　キッチン de 給食　JLL　MOL 商船三井　新潟県観光協会

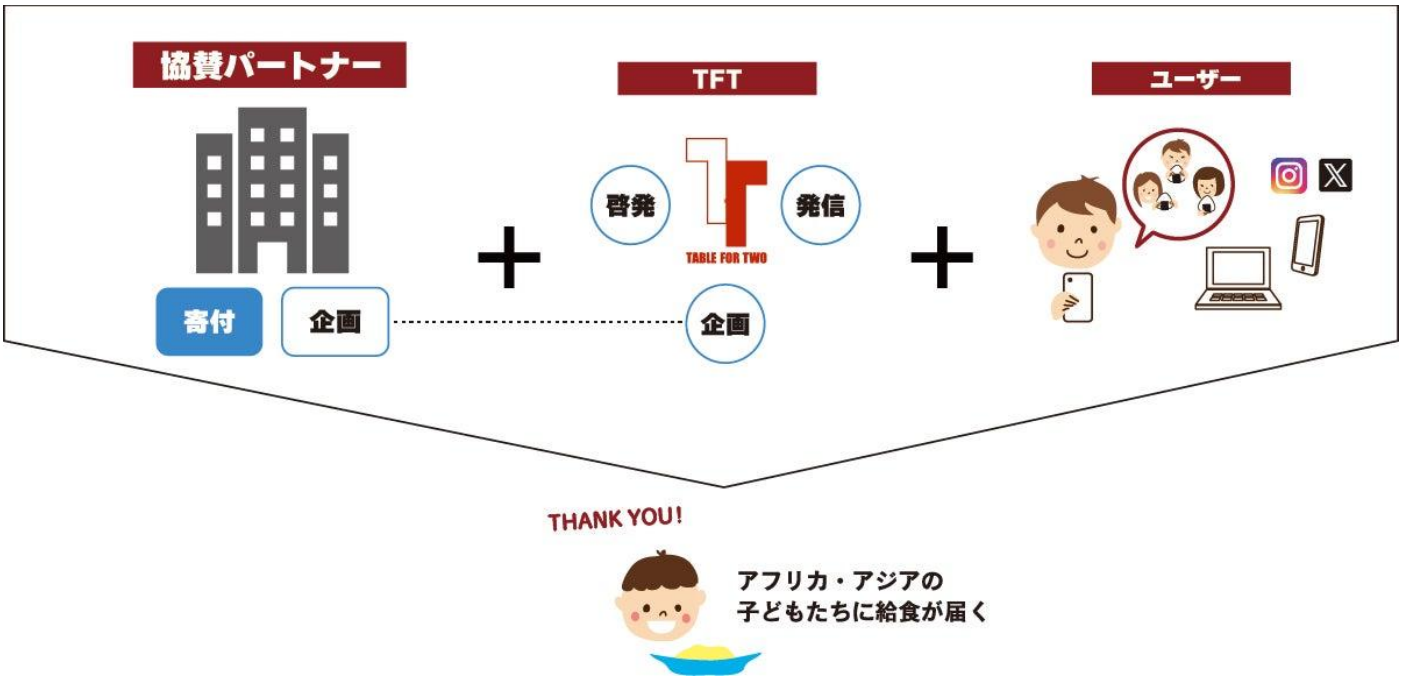
フーディストノート　デリッシュキッチン　サービス連携 SHIDAX 未来の子供たちのために　YONDE

メディア連携 月刊総務

ご取材頂けます

- ◆ TFT「おにぎりアクション」担当者、事務局長へのご取材
- ◆ 協賛企業・自治体　担当者へのご取材
- ◆ スペシャルアンバサダー・杉本美香氏へのご取材
- ◆ 企画に参加する学生へのご取材
- ◆ SNS で企画に参加している参加者へのご取材

おにぎりアクション概要



「おにぎり」の写真を SNS（Instagram、X）またはおにぎりアクション特設サイトへ投稿すると、協賛企業・団体の寄付により、写真 1 枚につきアフリカ・アジアの子どもたちへ給食 5 食分が届けられます。あわせて、日本の子どもにも食支援が届きます。

特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International について（ https://jp.tablefor2.org/ ）

2007 年 10 月設立。“TABLE FOR TWO”を直訳すると「二人のための食卓」。先進国の私達と開発途上国の子どもたちが食事を分かち合うというコンセプトのもと、社員食堂や店舗で TFT ヘルシーメニューを購入すると、代金の内 20 円が寄付となり、飢えに苦しむ世界の子どもに給食 1 食分をプレゼントすることができます。企業や官公庁、大学、病院など約 700 団体にご参加いただき、東アフリカと東南アジアの 5 カ国（ケニア 、タンザニア、ルワンダ、ウガンダ、フィリピン）を中心に、学校給食の提供、そして菜園・生産性向上プログラムの支援を実施しています。累計支援給食数は 1 億 2 千万食以上。